

なのはなだより

NANOHANA DAYORI

No. **68**

July 2012

NANOHANA DAYORI



なぎさ「納涼祭(なぎさ祭)」

INDEX

①
②
トレンドTOPIX 潮流
ちゅうりゅう
〈ニュースウォッチ〉

国家戦略・プロフェッショナル検定
〈実践キャリア・アップ戦略〉

レベル認定が平成24年秋から
3つの分野でスタートします!

フォーカス「老健ちば」

〈理事会・定期総会報告〉

〈全老健千葉県支部総会報告〉

③
④
〈平成24年度
介護報酬改訂についてのアンケート〉

⑤
⑥
〈研修会報告〉

自由気ままに
ペーパーブログ

「職場部活動でリフレッシュ」
赤門なのはな館
武山 照美(看護・介護部長)



リハビリ部会休会のお知らせ

⑦
〈なのはなスマイル〉施設の笑顔紹介

●コミュニティ広場うぐいす園
●純恵の郷

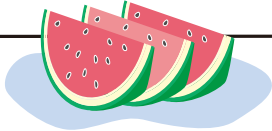
〈老健ちばカレンダー〉
〈編集後記〉



<http://www.chiba-roken.jp/>

平成24年7月19日 発行

レベル認定が平成24年秋から
3つの分野でスタート
します!



潮流

トレンド
TOPIX
ちょうりゅう

ニ
ユ
ー
ス
ウ
オ
ツ
チ

国家戦略・プロフェッショナル検定(実践キャリア・アップ戦略)
レベル認定が平成24年秋から3つの分野でスタートします!
「キャリア」や「能力」がより評価される社会の実現へ

★キャリア段位制度の全体像

①介護プロフェッショナル、②カーボンマネジャー、③食の6次産業化プロデューサーを選定し、実践的な職業能力に重点を置き、「わかる(知識)」と「できる(実践的スキル)」の両面を評価し、7段階のレベルの認定を行うこととしていきます。24年度に実施期間の公募を行った上で、24年秋からレベル認定を開始し、全国に普及させていきます。

【介護プロフェッショナル】

認定の対象となる『介護プロフェッショナル』とは、特別養護老人ホームや老健施設、認知症グループホーム、ホームヘルパーの事業所等で、主に高齢者の介護を行う方です。

入浴や排泄等の介護技術や、利用者・家族とのコミュニケーション、感染症や事故への対応、地域包括ケアに必要な関係機関や専門職と連携する能力等をOJTの中で客観的に評価することにより、介護福祉士資格を持っている、ホームヘルパー研修を終了したというだけでなく、現場で実際に何が出来たかを証明します。レベル認定を受けることで、給与等の重要な判断材料になることが期待されます。

また、就職の際に実践的な介護スキルがアピールできるようなるとともに、介護分野を目指す人や働く人の目標となる能力が明らかになります。
※施設や事業所において、OJTの一環としてこの制度を導入することにより、介護職員の処

遇改善のため介護報酬の一定割合が加算される「処遇改善加算」のキャリアパス要件を満たすこととする予定です(10月施行予定)。(職位、職責又は職務内容等に応じた賃金体系を定めること等のキャリアパス要件によりがたい場合に限ります。)

■介護人材に係るレベルについて

レベル	基本方針案	求められる能力	既存資格制度との関係	
プロレベル	7	分野を代表するトップ・プロフェッショナル		
	6	プロレベルのスキル+特定の専門分野・業種におけるさらに高度な専門性、またはその人の独自の方法(オリジナリティ)が顧客等から認知・評価される	○多様な生活障害を持つ利用者に質の高い介護を実践 ○介護技術の指導や職種関連のキーパーソンとなり、チームケアの質を改善	認定介護福祉士(仮称)
	5		○チーム内でのリーダーシップ(例:サービス提供責任者、主任等) ○部下に対する指示・指導 ○緊急時の対応を適切に行う ○本レベル以上が「アセッサー」になれる	介護福祉士(レベル4については、一定の実験経験を有する者)
	4	一人前の仕事ができる+チーム内でリーダーシップを発揮、必要に応じて「指示」や「指導」を行う事が出来る	○利用者の状態像に応じた介護や多職種の連携等を行うための幅広い領域の知識・技術を習得し、適確な介護を実践(例:施設等において、主たる夜勤者を担うことができる)	介護初任者研修修了者相当
3	指示がなくとも、一人前の仕事ができる	○一定の範囲で、利用者ニーズや、状況の変化を把握・判断し、それに適じた介護を実践		
2	一定の指示があれば、ある程度の仕事ができる	○基本的な知識・技術を活用し、決められた手順等に従って、基本的な介護を実践(例:施設等において「夜勤」に従事することができる)		
1 エントリー	一定期間の教育・訓練を受け、導入研修を終えた程度の能力である。職業準備教育を受けた段階	○初任者研修により、在宅・施設で働く上で必要となる基本的な知識・技術を修得		

介護人材の能力評価は、導入研修を終えた程度のレベル1から「トップ・プロフェッショナル」のレベル7までの7段階。マレベル1が介護初任者研修修了者相当マレベル3,4が介護福祉士相当マレベル5,6が現在検討されている「認定介護福祉士」(仮称)相当とする案が示されていた。



平成24年度 理事会・定期総会報告

■平成24年度役員

役職	氏名	所属施設	職名
監事	佐生 隆	慈風苑	理事長

平成24年6月19日(火) 京葉銀行文化プラザを会場に平成24年度理事会と定期総会がそれぞれ開催されました。

定期総会では始めに平山会長からご挨拶をいただき、その後議事の進行が行われました。

第1号議案として平成24年度監事について慈風苑の佐生隆理事長が選任されました。続いて第2号議



理事会・定期総会報告



案の平成23年度事業報告及び第3号議案の平成23年度決算報告が承認され、第4号議案の平成24年度事業計画、第5号議案の平成24年度予算についての案も承認されました。その他として「東京電力電気料金改定の値上げ見直しについて」の申請について説明が行われ総会は終了しました。

総会終了後、全老健共済会から全老健・団体保険制度等について説明がありました。全老健では会員施設の不側の事態に備えるための保険として団体保険制度を運営しており、総合補償制度、また退職金制度や医薬品・医療材料等の共同購入プロジェクトについても説明がありました。

全老健千葉県支部総会報告

平成24年3月30日(金)に開催した書面による全老健千葉県支部総会において次の通り支部長、支部代議員及び予備代議員が選任されましたので報告いたします。

■支部長

平山 登志夫
(晴山苑 理事長)

■代議員

平山 登志夫
(晴山苑 理事長)

村上 信乃

(シルバーケアセンター 施設長)

梶原 優

(ロータスケアセンター 理事長)

■予備代議員

近藤 悟

(スターチス船橋 理事長)

熊谷 富士雄

(晴山会ケアセンター 施設長)

平原 利彦

(夢プラスワン 理事長)



第23回 全国介護老人保健施設大会 美ら沖繩の開催

今年10月3日(水)～5日(金)にかけて沖縄県にて全国大会が開催されます。とても充実した研修内容が予定されておりますので皆さんも是非ご参加下さい。

2.加算取得のために、改めて取られた対策はありますか？

- ・歯科医師、歯科衛生士との連携強化（他7件）
- ・介護職員採用時における資格条件を「介護福祉士」必須とした。
- ・介護職員の基本給の見直し
- ・介護士の資格取得支援
- ・現在ターミナル加算については検討中。
- ・看取りの体制を改めて備えています。
- ・ターミナルに向けた取り組みを行っている。
- ・特になし 現状で算定可能項目のみ
- ・とりあえず届け出だけはしました。
- ・入所・退所前の訪問の徹底。今までセラピストが同行していなかったのが、決定しました。
- ・入所前後訪問指導強化
- ・言語聴覚士の採用を目指しているが難しい。
- ・今までは、肺炎や尿路感染症などの疾病が発生した場合は、協力病院に入院退所して対応していたが退所せずに施設内で対応することになった。
- ・各訪問指導加算の訪問日・訪問者の確認
- ・グループ別（機能別）に管理体制をつくっていく。
- ・キャリアパス要件の届出、訪問体制の確立（人員、日程調整等）
- ・通所定員増員
- ・外部と内部の連携

3.今回の改定に対し、総合的なご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

- ・減収幅を減らすためにも取れるが加算は必ず取っていないと厳しい改定である。
- ・表向き、プラス改定と謳っているが、実質は制度始って以来の大幅なマイナス改定と考える。今後の施設運営に課せられた問題に、どう対処すべきかを真剣に考えていかなければならない。
- ・在宅復帰要件の細かい点が解釈として矛盾を感じる。
- ・在宅復帰に関してどの施設でも算定するようになった場合、利用者側のダメージが大きいため社会的にはマイナスと思う。
- ・厚労省は、以前から（老健創設当初）、老健施設は、在宅復帰を最終目的としたものである旨の事を言っておられますが、現実はそのようでなく、利用者のご家族等の大半は、ずっと入所させておいてほしいという要望がほとんどであるという事も知っておく必要があると思います。
- ・基本単位がさがった中で、介護職員処遇改善加算をご利用者様より頂く事について矛盾があるのではないかと感じています。
- ・新設項目（算定要件が厳しく実際に算定することが難しい）が増えてはいるが、基本料的項目（施設サービス費等）が下げられており、施設としてはマイナス改定であるため、過疎・高齢化地域にある施設にとっては厳しい改定になっている。
- ・施設の「差別化」が浮き彫りとなった改定だった。こんな改定でどう介護職の確保、賃上げをしるのか全く疑問である。
- ・保険単位は同じで、施設と診療所で違いがあり、さらに

- サービスコードが改定前とは変更になっているので、そのまま更新すると診療所のコードなので、まぎらわしい。ケアマネからの提供票も間違いが多かった。
- ・特養待機者を引き受けなければならない状況で、在宅復帰率やベッドの回転率のみで、2つに分けて評価されることに違和感があります。
- ・在宅強化の方向性に対し、デイケアやショートステイなどの在宅療養を支援するサービスに対しての強化策が無い。
- ・在宅強化に向けたメッセージ性を感じるが、そうであるなら老健においてはショートステイや通所リハビリテーションのサービス増を図れるようにすべきではないか。
- ・これまで、老健の特養化が問題となっている現状で継続支援ともとれるターミナル加算の創設等を行っていたが、ここに来て、基本単位数を下げ、在宅復帰支援の算定で評価される事となった事にとまどいを感じた。
- ・現状を認識していない改定だと思う。在宅強化型がとれる施設がどの位あるのか疑問。当施設も地域加算がなければ大幅なマイナスとなっていた。処遇改善についても利用者負担とはいかがなものか。
- ・基本サービス費用から各種加算への報酬上の評価がより増したと感じる。老健施設の位置づけ（在宅復帰、機能回復）を明確にしていこうとする考えがみえる。
- ・在宅復帰加算で無理な退所指導を強えられる可能性を考えられる。ターミナルとの矛盾も感じます。
- ・在宅復帰が強調されたが、利用者家族は第二特養の考えで長期入所を望んでいる。家に帰されても看る人（世話人）もいないし困ってしまう。施設に預ければ安心して働けるとの事。核家族化があたり前の社会になっている。
- ・在宅復帰に係る報酬については当分の間、要件が満たせないように思います。これまでも在宅復帰として取り組んできましたが、更なる復帰率向上となるとかなり難しく感じています。
- ・介護職員処遇改善加算での支給については、介護職員以外の職種より、不満の声があります。
- ・利用者負担は増えたが、施設は収入が減った。
- ・全体的に点数が1.2%増になりましたが、これまでの運営方法を続けると、減収につながるの、これからは、取れる加算を取るよう工夫したいです。



平成24年度介護報酬改定についてのアンケート

「平成24年度介護報酬について」のアンケート結果が出ましたのでお知らせ致します。
 今回のアンケートには、130施設中68施設からのご回答を頂きました。誠に有難うございました。

平成24年度介護報酬についてのアンケート結果（回収率 52%）

1.入所部門における次の加算項目の中で、実際に算定されたものはどれですか？

加算項目	該当施設数	算定は無理	算定予定
在宅復帰強化型施設（1-2へ）	1		
在宅復帰・在宅療養支援機能加算施設（1-3へ）	1	1	0
従来型施設（1-4へ）	66	57	9



1-2.在宅復帰強化型施設における今後の課題は？

- ・復帰率を維持していくこと。

1-3.在宅復帰・在宅療養支援機能加算施設で算定が当面無理な理由は？

- ・在宅復帰困難者（独居、老々介護、家族の受入状況が悪い等）が多く、在宅を推してもなかなか結びつかないことが多いため。

1-4.従来型施設で在宅復帰・在宅療養支援機能加算の算定が当面無理な理由は？

- ・在宅復帰困難者（独居、老々介護、家族の受入状況が難しい、要介護状態が重度化、等）が多い。（他18件）
- ・施設の基本方針として、在宅にいられる事が出来るうちは、可能な限りデイケアのリハビリを行っています。そして、いよいよデイケア（在宅サービス）が限界になってから、初めて入所していただきます。
- ・入所希望者の減少により、ベッド占有率を高く維持することが困難と予想されるため。
- ・該当者が少ない為。
- ・在宅復帰の対象者が加算の要件に満たない為。
- ・回転率要件クリアできず。
- ・別に厚生労働大臣が定める基準イ在宅での介護を受けるものの占める割合が100分の30以上の要件をクリアすることが難しいため。
- ・算定要件該当せず。
- ・在宅復帰希望が少なく、ターミナル希望が多いので。
- ・特養待機者が多いこと。（他1件）
- ・過去2年間の統計により、在宅への退所者数が絶対的に不足している為、在宅復帰の強化を図り結果を見てから方針を決める予定。
- ・入所者のニーズに合わない（重度認知症の方が多い）在宅復帰後のサービス体制が不十分。稼働率が維持できない。
- ・退所先は医療機関、特養が多い。（他2件）
- ・在宅復帰率30%の達成、維持が困難。（他7件）

- ・現利用者の利用状況から判断。職員の配置・書類管理。
- ・算定要件満たせず（在宅復帰率、ベッド回転率、他）。（他4件）
- ・在宅復帰ではなく、特養等、他の施設への入所を希望されている為。（他4件）
- ・入院が多く復帰率のコントロールが不可能。（他1件）
- ・長期療養者が多いため。（他3件）
- ・認知症専門棟のみの施設につき、症状の軽い方のご利用が少ないため。
- ・オープンしてからまだ3ヶ月なので、病院と他の保健施設への退所が多いです。これから取れるように検討しています。
- ・平成23年12月にオープンしたばかりなので。

1-5.その他の加算項目について

加算項目	該当施設数
介護職員処遇改善加算Ⅰ	60
介護職員処遇改善加算Ⅱ	0
介護職員処遇改善加算Ⅲ	1
ターミナルケア加算	45
所定疾患施設療養費	45
認知症行動・心理症状緊急対応加算	23
入所前後訪問指導加算	47
退所前後訪問指導加算	50
地域連携診療計画情報提供加算	21
経口維持加算Ⅰ	6
経口維持加算Ⅱ	23
口腔機能維持管理体制加算	36
口腔機能維持管理加算	13
緊急短期入所受入加算	38
重度療養管理加算	45

どちらも算定可能という施設が3施設ありました。
 上記の数字には含まれていません。

研修会報告

第1回 新人職員研修会報告

平成24年6月11日(月)

京成ホテルミラマール



秀眉園
研修委員長
出川 正樹

今年度最初にふさわしい研修会、新人職員研修会が6月11日に行われました。参加者172名となり、1年通して行う研修会で毎年多くの参加者が見込まれますが、今年は例年以上に多く参加していただき会場は熱気に包まれていました。新人研修は2部構成で行われ、午前は総和苑事務長灘和之氏を講師に招き「介護保険と介護老人保健施設のかかわり」について、午後からは夢プラスワン看護師長平澤富士美氏を招き「介護老人保健施設のケアについて」と広い分野について講義をしていただきました。

午前中の講義は、介護保険前の老人保健制度から始まり現在の介護保険を網羅する形で介護保健施設の沿革を見ながらパワーポイントを使い分かりやすく説明を頂きました。今年度は、介護報酬改定の中でも介護職員処遇改善加算が入る事に

なり、以前より負担が増え施設自体の運営自体も厳しくなってきたという現状などを場面に応じた内容を元に詳しく講義を頂きました。午後は、全職員に関わりを持つ利用者様のケアについてとなり老健の看護介護の役割から始まり、高齢者の身体的特徴・接遇・事故防止・身体拘束・認知症ケアについて・感染症予防・看取りケアと内容は幅広く時間は短い講義になってしまいました。現場での実践経験をもとに講義をしていただいたのでより身近な話として聞いていただけたのではないかと思います。

そして、両講師の方が話をしていて印象に残ったのが、今後は「選ばれる施設になるための努力をしなければならぬ」としてどの職種にも共通する「自分がされたくない介護はしない」という言葉を聞き、自分自身も初心を忘れず利用者様に対応することを勉強させていただいたような研修でした。



参加者の感想



ケアホーム初石
介護福祉士
水落 利子

第一回新人研修会に参加して

平成24年6月11日に京成ホテルミラマールにて新人研修会が開催されました。72施設172名の参加でした。

研修会では「介護保険と介護老人保健施設のかかわり、介護老人保健施設のケアについて」の研修で、講義が始まり講師の方の態度に違和感を覚えながら講義は進み、正直なところ「この研修はいったい……?」と思っている講師より「何かおかしくないですか?」との質問を受け、つい正直に「声が小さいです」と答えてしまいました。すると「実際にこのような態度で利用者の方やその家族に対応したら相手の方は不快感を覚ええます。一人でもこのような態度をとるスタッフがいるとその施設は信用を失います」と。私達は講義が始まり試されていたのです。介護の技術と同様に接遇も大切だと改めて学びました。介護保険の知識に疎い現状でありましたが大変解りやすいものでした。介護福祉士の立場から、介護報酬に関しても知識として持っていたかったので大変参考になりました。全体を通して、接遇、チームケアの大切さ、身体拘束を必要としない工夫、感染予防と今回の研修会で学んだ事をこれからの業務に活かしたいと思います。

参加者の感想



メディケア一君津
介護職
塚越 由佳

新人研修

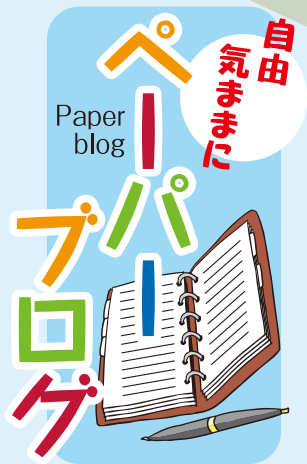
今回、新人研修に参加して老人保健施設の職員としてどのような心構えで仕事をしていけばよいか良く理解できました。

午前中、灘先生からは介護保険のしくみ、老人保健施設ができた経緯、過去何回か行われた改定により今日のような体制になっているとお話がありました。

介護で一番大事なことは全てのご利用者をお家の家族や大切な人だと思いい、自分が忙しい時や辛い時ほど笑顔でいることによって安心して下さる方がいるのだということ、いつも心に留めておくことだと灘先生はおっしゃっていました。

午後からの平沢先生は看護師の立場からのお話で、感染症や介護事故対策、身体拘束によって生じる利用者やその家族の心の傷なども考えることや話し方、スピードなど同じ目線に立ち常に相手を敬う事のできる行動を心がけることが大事だと思いました。それと各職種の役割や他職種連携により出来る仕事の大切さも学ぶことができました。

今回の講義を通じ、高齢者やご家族の声に耳を傾け安心して任せて頂ける介護職員になりたいと思います。



自由
気ままに

『職場部活動でリフレッシュ』

赤門なのはな館

武山 照美（看護・介護部長）

赤門なのはな館に就職し6年が経とうとしております。前職は医療現場で忙しい毎日を送り、明けても暮れても職場と自宅の行き来が私の生活でした。

赤門なのはな館での仕事をスタートした時に感じたことは若いスタッフが多く、「スポーツ好きの人たちが沢山いるのでは...」私は、学生時代からバレーボールを経験しており、いつかは職場でチームを作りたいと考えていたので、ここで実現できる！と上司に相談してみました。理事長や上司の協力もあり、赤門ヘルスケアグループ全体に呼びかけをしたところ想像以上に反響がありました。参加希望の殆どが「体を動かしてリフレッシュしたい！」と言われ、2006年

9月赤門バレー部が誕生しました。

当初はただ体を動かして練習を楽しむ活動でしたが、徐々に練習内容も本格化し、初心者の方も力をつけ試合に出て自分達の力を評価してみたいとメンバーから声が上がることがようになりました。



男女混合6人制の試合は数少ないのが現状です。地域の方々との交流を目的の一つとし徐々に試合数を増やし、現在では年間8〜10試合の参加をするようになりました。

そして3年前から、20名程のメンバーで医療・介護間の親睦を目的とした「赤門杯」(年間1〜2試合)を自分達で作りに上げております。参加チームも毎回増え、今では15チームが参加する大会となりました。勿論、赤門グループ全体の協力・支援あつての大会です。

是非、試合に参加してみたいチームがありましたら、赤門なのはな館へご連絡下さい。

これからも、上手にリフレッシュができ、仕事への張り合いにも繋がる部活動がおくれるよう頑張っていきたいと思っております。

Information

リハビリ部会

休会のお知らせ

リハビリ部会 会長 藤川 孝彦

(船橋うぐいす園)

平成15年度より、リハビリ部会は活動してきました。しかしながら、幾度かの介護報酬改訂に伴い、リハビリ部門、とりわけ、セラピストにおける役割が、利用者に対する個別対応となり、部会・研修会参加者の減少傾向となってきました。リハビリ部会に協力いただいた委員も同様の状況で、年に3〜4回ほどの打合せなどの調整が困難となってきました。

部会立ち上げ時に掲げた、会員の知識・技術の向上と施設間交流機会の提供を主目的とし、各施設の抱えている問題とその対応策や施設間の情報交換等、当初の目的は到達したようにも思われます。

部会の研修を楽しみにしていた皆様には、本当に残念な結果にさせてしまい誠に申し訳ないと思っております。

いづれにせよ、リハビリ部会の役割・在り方を考え直す時期が来ているかと思えます。県内の老健施設・リハビリ部門の充実と利用者のQOL向上の一翼となれるようなりハビリ部会の再開を願い、ここに報告させていただきます。ST分科会は本年度開催の予定です。



<http://www.ingenious.co.jp>



福祉車両の
プロフェッショナルに
お任せください。



福祉車両の販売・メンテナンス
インジニアス株式会社

〒332-0031 埼玉県川口市青木3-12-11
TEL/048-257-2948 FAX/048-257-2945

事務所及び工場を移転致しました



な の は な
ス マ イ ル



…施設の笑顔紹介



コミュニティ広場 うぐいす園は、東金有料道路高田ICより車で1分、JR外房線誉田駅より車で10分の緑豊かで静かな場所にあります。

近隣に法人施設4つが並び、協力し合い利用者様の交流コミュニケーション・リハビリを充実させ、常に利用者様中心のケアを提供させて頂いております。

高校卒業してから、毎日頑張っています。利用者の方々から笑顔や元気をもらい、楽しく利用者様のお手伝いをさせて頂いております。

●コミュニティ広場 うぐいす園
介護職員 富澤 結花



■ コミュニティ広場
うぐいす園

住所：千葉市緑区高田町1784-2
電話：043-291-2574
開設日：平成4年5月1日
入所：80名
通所：20名



今年で8年目となる全室個室対応の介護老人保健施設です。3階には広いバルコニー(ウッドデッキ)があり毎年の納涼祭等のイベントを開放的に行わせていただいております、お一人おひとりの生活リズムに合ったサービスを提供できるよう心がけて運営しております。

お客様が毎日、明るく楽しく過ごせるよう支援していきたいです。介護2年目ですがこれからも頑張っていきます!!

●純恵の郷
介護福祉士 山本 岳



■ 純恵の郷

住所：千葉市中央区南生実町590-1
電話：043-305-0210
開設日：平成16年10月1日
入所：84名
通所：30名

老健ちばカレンダー

7月

18日(水) ターミナルケア研修会
『ホテルポートプラザちば』

8月

9日(木) 接遇研修会
『京葉銀行文化プラザ』
27日(月) 食事研修会
『京葉銀行文化プラザ』

9月

14日(金) 排泄研修会
『場所は未定』
第2回新人職員研修会
『日程・場所は未定』
支援相談員研修会
『日程・場所は未定』



● 編集後記

- 少し前に参加したセミナーで、心に残った言葉を紹介します。「成果とは、売上ではない! 利益でもない! 成果とは、われわれの仕事の結果として、顧客に現れた好ましい変化のことである。」(坂本)
- 夏が近づく度にとっても憂鬱になります。夏で嫌なことベスト3!! まずは1位、とにかく暑い!! 2位、車のハンドルが熱い!! 3位、こどもの夏休み!! 夏は嫌い(≥へ≤)(原)
- 苦手な夏がやってきました。しかし、冷たいビール・ワイン・冷酒が美味しい季節です。楽しいことを考えて前向きに夏を乗り越えます。(若林)
- 今年も地元の祭りで燃え尽きました。歳とともにお神輿が重く感じます。体力の無さに痛感いたしました。リハビリかなあ〜(ノド・)(神作)
- 未曾有の大震災から一年余り、「復興」までにはまだかなりの時間を要します。そんな中、長瀬剛のニューアルバム「StayAlive」を聴きました。震災をテーマにした中に、今の日本の現状と個々のあり方を考えさせられます。ちなみに、私の故郷は原発被害地の福島県伊達市です。(斎藤)
- 2歳の娘の為にジャングルのようなレストランで食事したら、動くオランウータン人形に号泣。親の想いが裏目に…。怖かったねの発言に、心の中で「ごめんね」とつぶやいた一日でした。(佐々木)